



THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU
名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

<本年度会長方針>

大きな和を築こう

No.1199

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 鬼頭茂成 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 岡村隆徳 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1407回例会

識字率向上月間

平成25年3月14日(木)
於 名古屋東急ホテル
出席計算数 会員 64名
58名中46名出席
出席率79・31%
前々回出席率78・18%

例会プログラム

- ★東日本大震災犠牲者追悼(黙祷)
- ★津島RC加藤泰一郎さん挨拶
- ★米山記念奨学会感謝状授与
- ★岩崎米山記念奨学生カウンセラー
・米山奨学期間終了者の集い
- ★米山記念奨学生挨拶
- ★田崎クラブ奉仕委員長
・5月9日(木)例会変更 東日本震災チャリティコンサート
本入賞組委員長
- ★川口会員組織委員長
・友達を呼ぼう例会案内
- ★卓話

「ロータリーング」

「奉仕の理想」
指揮者 渡辺 観永
ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

地区識字率向上委員長
津島RC 鈴木 吉男さん
米山記念奨学生 周 珪
小笠原さんゲスト
津島RC 加藤泰一郎さん

ピクチャー

東海RC 小嶋 洋一さん

「ニコソックス」

堀江さんには識字率向上委員会でお世話になっております。本日は卓話をさせて頂きます。

津島RC 鈴木 吉男さん
今日はお世話になります。
津島RC 加藤泰一郎さん

鈴木吉男さん本日卓話よろしくお願ひします。
鬼頭 茂成
鈴木吉男さん本日卓話ありがとうございます。
堀江 英弥

鈴木吉男委員長、卓話を楽しまにしています。
神田 憲
鈴木さんようこそ。
木村 光徳

小笠原さんお手やわらかに!!
V-I-V-I短い間でしたが楽しかったですね。
岩崎 征一
先日はクラブ奉仕委員会へ歓迎会を開催して頂きありがとうございました。
杉本 忠夫

ヒルウォーキング、尾上さん、前田さん、お世話になりました。岩崎さん、いつもありがとございます。
春日井和良

お久しぶりです。
ひさしぶりです。
結婚記念日です。
杉本 英夫
尾上 昇
草野 勝彦
内藤 明

奥様の誕生日です。
カミさんの誕生日です。
大源 俊博

47年目の結婚記念日です。
小笠原和俊

会長挨拶

会長 鬼頭 茂成

みなさんこんにちは。
最初に2年前の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
今月はロータリーの識字率向上月間です。今日は2760地区の識字率向上委員会の鈴木吉男委員長から卓話を頂きます。よろしくお願ひします。

さて、今年度ホストをしています、米山奨学生の周珪さんが、この春卒業され東京に就職されます。当クラブのホストも今月で終わりますが、これからも機会あるごとに交流を重ねていきたいと思ひます。またカウンセラーの岩崎さんには大変ご苦労をおかけしました。しっかりサポートをしていただいたようでロータリークラブがテーマの卒論も大変良くできています。ありがとうございました。ありがとうございます。この後ご挨拶があります。よろしくお願ひします。
「清聴ありがとうございます」

卓話

「識字率向上月間に寄せて」

国際カールス・デーとCIEE

地区識字率向上委員長

津島RC 鈴木 吉男さん



国連は、昨年10月11日を「国際カールス・デー」と制定した。「国際カールス・デー」は、世界中のより多くの人が、女の子の状況に関心を持ち、女の子の人権を尊重するようになることを目的として制定された、いわば「世界中の女の子の未来を切り開くための日」である。
世界で読み書きができない人の3分の2は女性。女というだけで教育を受けさせてもらえなかったりするため、「女子児童が1年学校に通えば将来の家計にプラス25%の余剰収入をもたらす」、それが2年になると50%に増える」と指摘されている。
貧困は女性に集中しているなかで、アフリカでは女子教育で農業の収穫高がアップしたり、HIV感染率が抑えられたりしたケースが確認されている。生産性向上等にもつながるため、女性が教育を受け、自立することが貧困解消につながることは裏付けられている。国連では、1960年代から

際社会で非識字について問題視している。2001年12月に「国際識字の10年すべての人に教育を」をスローガンに、2003年から2012年までに貧困の撲滅と男女の平等の実現のために行動を起こしてきた。

国連の識字の問題についての取り組みに合わせ、国際ロータリーも識字を最重要項目として取り組むようになり、識字能力の向上を図る目的で、97、98年度RRIの強調事項に指定された。さらに1997年7月の会合で、理事会は毎年7月を識字率向上月間と定めた。地域の識字水準が、その地域の生活水準に直結するという観点から、この月間中に読み書き、計算のできない人たちを援助するために、ロータリー地域社会共同、ロータリー・クラブ、インターアクト・クラブ、世界社会奉仕ロータリーボランティア、その他の既存のプログラムを通じて、識字率向上に取り組みたい。識字率向上月間は、06、07年度より3月に変更された。

国際ロータリーは非識字を一層効率よく解決する方法がないかと「CELI」の学習方法を考案した。CJLI (Concentrated Language Encounter) 二語力集中研修講座) は最初、タイの学校向けに開発された教授方法で、読み書きを中心とした識字教育を

目的としている。現地で教育プログラムの内容が決められるので、自分たちの文化遺産に対する理解を深めたり、さらに保健、環境その他の問題への認識を高めるのに役立つ。この基となったRRIのライトハウス・プロジェクトは、オーストラリアの言語学者・ウォーカー博士(97、98年度RRI識字・計算能力向上グループ、ゼネラル・コーディネーター)の提唱するこの手法によって考えだされ、現在タイのすべての国立学校で採用されているほか、多くの発展途上国で取り入れられている。

■米山記念奨学生感謝状授与



1年間、米山記念奨学生(周 玮さん)のカウンセラーを務めて頂いた、岩崎正一さんへ“感謝状”が贈られました。

■米山記念奨学生授与(最終)

周 玮
この度は、米山奨学生の周い



です。今日は、私の最後の例会スピーチになります。この一年間は毎月例会へ参加させていたたいみなさんと付き合わせていただいていた、とても貴重な経験を得ることができました。ここでは、いくつか印象に残ったエピソードを話したいと思います。

まず、1つ目は、私が学業で忙しかつた時に、ロータリーの例会に来ることは大きな楽しみでした。もちろんおいしいご飯を食べられることも嬉しいですが、みなさんとお会いできることが楽しみです。留学生は周りに家族がいなくて、頼れる人がいないので寂しい時もあります。例えば「元気がいいか」「最近はどうですか」「元気がいいか」と声をかけてくれる皆さんがいて、とても暖かく感じて、頑張れるエネルギーになります。

そして、去年私の誕生日の時に、国にいるおじいちゃんがガンでなくなりしました。ちょうど誕生日の当日はおじいちゃんが埋葬される日、私は熱田神宮に参りに行きました。その帰りに渡辺さんのお寺が近くにあることを思い出して、寄ってみました。このことを知った渡邊さんは、何も言わずに直ちに法事をしてくれて、さらに誕生日といって果物やお米もたくさんくれました。今度は嬉しい涙で、私にとってとても感動的でした。

最後に、何といってもカウンセラーの岩崎さんにお世話になりました。岩崎さんはお仕事が大変忙しくて、米山の旅行やパーティーにあまり参加できなかったのですが、その時に、必ず電話がかかってくる「ユルユルな会話、行きたかったです」と話してくれました。私の卒業論文の時に、インタビュアーの相手を探してくれたり、夜10時の遅い時間でもメールで対応してくれたりして、大きな助けになりました。いつも優しく、頼れる存在として、この一年間大変お世話になりました。

このように、1年間の米山奨学生として、私の留学生生活をより豊かに、より楽しいものにしたほか、皆ひとと接している間に、「人と人のつながりを大事にする」ことを学ばせてくれました。これからは私は東京で新たな旅に出ますが、

人と人の繋がりを大事にして、仕事や生活の中に生かして行きたいです。
この一年間は本当に、ありがとうございました。



名前/周 玮 (しゅう 玮)
あだ名/vivi ユウ
出身地/中国 広州市
E-mail/
bubble_vivi@hotmail.com
携帯電話/(事務局長より)

★東京(あるいは中国)にいらした時はぜひ声をかけてください。

3月28日(木) 例会の案内
定款第6条第1節による休会
4月4日(木) 例会の案内
SPEAK OUT DAY

広報委員会
近藤宏一郎・林 富徳
杉浦 令淑・青木 靖高
*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。